

～紀伊半島大水害を忘れないために～ 十津川村文化祭で初めてパネル展示を行いました

奈良県 県土マネジメント部 砂防・災害対策課

11月2日、3日(金・土)に十津川村体育文化センターで実施された「第43回 十津川村文化祭」において、国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所にもご協力いただき、初めてパネル展を実施しました。

当日、パネルをご覧いただいた村民の皆さんからは紀伊半島大水害発生当時の様子をお話しいただきました。発生時はまだ学生だった参加職員にとって大変勉強になったと同時に、改めて被害の大きさを実感しました。

今後も当課では県内各地でパネル展を実施し、県内の土砂災害の被害や効果的な避難方法をご紹介しますことで、災害の風化を防ぐとともに土砂災害の防止、被害の軽減に努めていきます。

○当日の様相



上段：被災箇所と復興状況を紹介するパネルを見る来場者



下段：紀伊半島大水害で多発した深層崩壊のメカニズムを模型で学ぶ来場者

○来場者の感想

- ・当時被災して、自然の恐ろしさを身をもって感じた。あの経験を活かし、これからも備えを万全にしたい。
- ・被災箇所の近くに住んでいるが、復旧工事が進んできてうれしく思う。早期完成に向けて頑張ってもらいたい。
- ・自分は紀伊半島大水害発生時に生まれておらず、学校で大水害のことを習ったり、親から当時の様子を聞いたりした。自分たちの村で大きな災害があったことを忘れず、これからは周りの人々に伝えていきたい。